

豊上下水経第234号
令和6年6月24日

豊田市上下水道事業審議会
会 長 竹内 信仁 様

豊田市長 太田 稔彦

適正な下水道使用料のあり方について（諮問）

本市の下水道事業の健全な経営を図るため、適正な下水道使用料のあり方について、貴審議会に意見を求めます。

諮問内容

下水道は、快適で衛生的な市民生活や経済活動を支えるとともに、河川等の水質保全に寄与することにより良好な水環境を創出し、浸水を防除することで市民の生命と財産を守るといった多面的で重要な役割を担っています。

本市では、下水道の未普及解消に向けた面整備による投資を進める一方で、愛知県の流域下水道への接続による広域化の取組など、効率的な事業運営を行っています。

下水道使用料については、平成13年4月の改定以降、据え置けていますが、近年の使用料収入は人口減少や水需要の変化により減少傾向、維持管理費は物価高騰などにより増加傾向がみられる状況です。

今後は、下水道面整備の概成を契機として、建設から維持への移行を見据えたうえで、ストックマネジメントによる効率的な施設更新や、災害への備えとなる耐震化、浸水対策などの投資も必要です。

このような状況下においても、将来に渡り持続可能な健全経営を確立するためには、更なる経営基盤の強化に取り組む必要があります。

つきましては、次期下水道使用料の算定期間を迎えるにあたり、今後の健全な下水道事業経営に資する、適正な下水道使用料のあり方について諮問します。